

居場所づくりへの新たな試みや工夫を
みんなで共有させてください！



コロナに負けるな！ 「まちのひろば」の取組募集！

身近にある新たな試みや工夫により継続している「まちのひろば」や新しい「まちのひろば」の取組を教えてくださいませんか？

市ホームページなどでご紹介して、コロナ禍においても停滞しないつながり方を共有させていただき、みんなで with コロナを乗り切っていきましょう！

●募集内容 コロナに負けない「まちのひろば」づくりの新たな試みや工夫
例)・3密を回避した居心地の良い空間づくり

・イベントチケットや回覧板などの電子化の取組 など

自薦・他薦
問いません！

●応募資格 市内の「まちのひろば」づくりに関わる人、団体

●応募方法 下記お問い合わせ先（電話、FAX 又はメール）へ①名称②活動場所
③活動内容④新たな試みや工夫について、お気軽にご連絡ください。

●募集期間 令和2年11月1日（日）～令和3年2月26日（金）

●応募後のスケジュール

① 応募いただいた取組のヒアリング、現地調査

② ヒアリング、現地調査結果に応じて、適切な媒体による広報を実施

※取組内容などによっては広報できない場合もあります。

あなたの活動をPR
するチャンス！

●予定している広報

市ホームページ、協働・連携ポータルサイト「つなぐっと KAWASAKI」など

川崎市では「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、「まちのひろば」づくりを進めています。



お問い合わせ先

川崎市市民文化局コミュニティ推進部協働・連携推進課

電話 044-200-3708(平日 8:30~17:15)

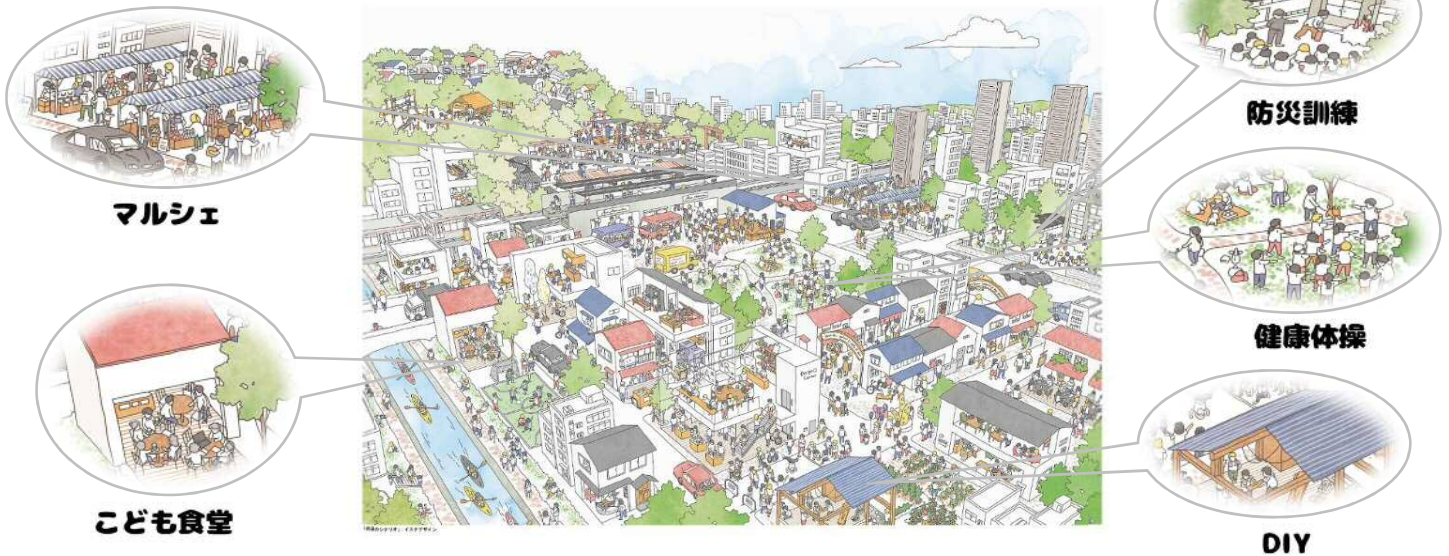
FAX 044-200-3800

メール 25kyodo@city.kawasaki.jp

『まちのひろば』とは

『つながり』があることは、タバコ、アルコール、メタボ予防より、寿命への影響力が強いという調査結果があることをご存知ですか！？他にもうつ病の発症率が低いことや、阪神淡路大震災でも約6～8割の方が家族、友人、近隣住民等によって救出されたという調査結果も出ています。

地域に広がる「まちのひろば」 ～「希望のシナリオ」のイラスト～

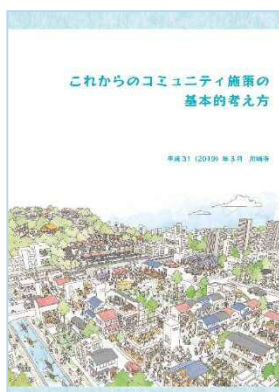


実際に地域の皆さんに「10年後、こうなったらいいなと思う地域の姿」をお聞きしたところ、「家や職場以外に、身近なところに誰でもふらっと立ち寄れて交流できる居場所があるといいね」という声を多くいただきました。こうした声を踏まえて、川崎市では「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を策定し、そのような多様なつながりを育む居場所やつながりを「まちのひろば」と名付けました。

「まちのひろば」は、気軽に集える出会いの場、地域の居場所、自宅や学校、職場以外のサードプレイス、活動の場、交流の場など幅広い側面があると考えています。3人そろえばそれはもう「まちのひろば」かもしれません。

行政として認定したり、目標数を設定したりはせず、地域にある資源を活用しながら、主体的な「まちのひろば」を生み出しやすいしくみづくりを進めて、川崎のまちのそこかしこに多様な居場所が生まれていくように取り組んでいます。

今回は、チラシ表面のとおり、コロナ禍における活動の好事例を募集します。自薦・他薦問いませんので、どしどし情報をお寄せください。皆さんで情報を共有して、地域を盛り上げていきましょう！



これからの コミュニティ施策の基本的考え方 2019年3月策定

詳しくは、市ホームページからご確認ください

これからのコミュニティ施策について

検索

